

CATERPILLAR Fact Sheet 2018

日本で活動を始めて半世紀。

建設機械の歴史は、キャタピラーと共に始まりました。1904年にホルト社が史上初の履帯式トラクタを製造し、その後1925年にCaterpillar Tractor Co. を設立。以来90年以上にわたり、世界最大の建設機械メーカーとして多種多様な製品を世に送り出してきただけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーとしても社会の発展に貢献してきました。日本においては、1960年に油圧ショベルを初めて国産化した三菱重工業（明石製作所）と合併関係を結び、1963年より活動を開始。キャタピラーグループの重要拠点として、主力製品である油圧ショベルの開発・生産をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。

日本の、そして世界のお客様の成功と安心を支える。



卓越した製品と技術を、日本から世界へ。

日本の“ものづくり力”を生かし、卓越した製品と技術を、世界へ。

国内で販売する全てのCat®製品のマーケティング機能と小型製品の開発拠点である「横浜オフィス(本社)」、Cat油圧ショベルの世界唯一の開発拠点「油圧ショベル開発本部(HEDC)」。そして、生産累計30万台以上を誇る油圧ショベルのマザープラント「明石事業所」。日本においてキャタピラーは、小型製品の開発、油圧ショベルの開発・生産拠点を構え、国内サプライヤーと一体となったものづくりを通して、世界約100カ国へ製品・技術を送り出しています。

- キャタピラー社が世界に展開する8カ所の小型製品拠点の中で最重要拠点としてミニ・小型系の油圧ショベルやホイールローダ、スキッドステアローダなどを企画・設計・開発
- 油圧制御の心臓部ともいえるコントロールバルブなどの主要コンポーネントから骨格を構成する板金構造物までを自社製造し、油圧ショベルを一貫生産
- 日本のサプライヤー企業約200社とパートナーシップを構築
- ものづくりを通して地域との絆を深め、日本の産業発展に貢献

主な国内拠点 横浜オフィス(本社)
 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1 OCEAN GATE MINATO MIRAI 12階 TEL(045)682-3800
 明石事業所/油圧ショベル開発本部
 〒674-8686 兵庫県明石市魚住町清水1106-4 TEL(078)943-2111

主な販売・レンタル網 日本キャタピラー合同会社 四国機器株式会社 四国建設機械販売株式会社 キャタピラー九州株式会社

創立 1963年(昭和38年)11月4日

代表執行役員 Harry Kobrak Steve Lanctot Joe Moscato 豊浦 信海 塚本 恵

主要製品 建設機械 鉱山機械 ディーゼル&天然ガスエンジン ガスタービン ディーゼル電気機関車

日本におけるキャタピラーの歴史

1963	キャタピラー三菱設立	1992	油圧ショベル開発・設計の新拠点、設計センタービル(兵庫県明石市)完成
1965	CAT D4Dブルドーザ国産第一号機完成	2003	相模に相模開発センターを開設
1986	新キャタピラー三菱発足に先立ち、油圧ショベル開発センター(兵庫県明石市)を開設	2008	明石事業所、油圧ショベル生産台数30万台を達成 キャタピラー・ジャパンに社名を変更
1987	キャタピラー三菱、明石製作所の後身と合併し、新キャタピラー三菱としてスタート	2009	相模事業所、生産台数40万台を達成
1990	相模、明石両事業所を設立	2012	キャタピラー社がキャタピラー・ジャパンを単独所有
1992	世界統一仕様のCAT300ファミリー油圧ショベル[REGA]シリーズを新発売	2017	デジタル接続性とセミオート機能を標準搭載し使いやすさを追求した業界初の次世代油圧ショベルを新発売 本社を横浜に移転

キャタピラーの概要



主要製品



建設機械



鉱山機械



ディーゼル & 天然ガスエンジン



ガスタービン



ディーゼル電気機関車

OUR SOLUTIONS HELP OUR CUSTOMERS BUILD A BETTER WORLD.

連結売上高(2018年) **\$54.7 billion**
 アメリカ合衆国以外の売上と収益 **59%**

総従業員数 **104,000**
 (内57%がアメリカ合衆国以外)

Caterpillar Confidential Green